

芙蓉総合リースが再エネ事業の損失で業績下方修正 一格付への影響は限定的

以下は、芙蓉総合リース株式会社（証券コード：8424）が、再生可能エネルギー事業にかかる損失を計上するとともに、通期連結業績予想を下方修正したことについての株式会社日本格付研究所（JCR）の見解です。

■見解

- (1) 当社は、10 月 23 日、当社の取引先が個別のプロジェクト持株会社を通じて資金提供し、開発を進めている複数の再生可能エネルギー事業のうち、スペインにおける一部プロジェクトで、資金不足を理由として開発が遅延していることが判明した旨、並びに債権の回収可能性を検討した結果、当該取引先に対して保有する債権の一部で取立不能又は取立遅延のおそれがあると公表した。これに伴い、26/3 期の業績予想につき、経常利益を 700 億円から 380 億円へ、当期純利益を 460 億円から 170 億円へ修正した。
- (2) 当社の長期発行体格付には、幅広い事業基盤と多様な収益源に支えられた良好な収益力、規律ある与信運営に基づく資産の健全性の高さ、リスク対比で充実した自己資本などを反映している。本件により見込まれる損失額は 286 億円と小さくないが、堅調な他事業により計上される期間損益で吸収可能な規模であり、格付への影響は限定的とみている。建築・運営コストの上昇などの外部環境を踏まえると、再生可能エネルギー事業全体の動向には一定の留意が必要と JCR は考えている。ただ、当社の事業ポートフォリオは、不動産、航空機、モビリティ物流など十分に分散が効いており、多様な収益源が支えとなり 27/3 期の業績は回復に転じると見込んでいる。

（担当）大石 剛・木谷 道哉

【参考】

発行体：芙蓉総合リース株式会社

長期発行体格付：AA- 見通し：安定的

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.

信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル